

フィールド風

(現場)からの

宮田守男

秋が深まって雨が降ることに気温が下がる「一雨一度」と言われる10月を迎えたが、気象庁の向こう一カ月の天気の見通しは、全国的に気温の高い日が続

き、特に10月上旬は、10年に一度のレベルの高温になるとして「早期天候情報」を発表。今も夏物衣料が主役になっっている家庭も多いはずだ。日本の海水温が高いためか、雲の元となる水蒸気が豊富で日本海側の雨量は平年の2倍で雨が強く

まっけているとの情報。10月は、神々が出雲大社に集まり日本各地で神様が不在なる事から「神無月(かんなづき)」の名がある。冗談にも神々不在?と言われないような、台風など災害が限りなく無い事を祈るばかりだ。

9月中旬発表した県内各地の7月1日時点の基準地価で白馬村の平均変動率は商業地では前年比22.0%と前年に続いて大幅に伸びた。新築用地が不足しているためか、既存建物を取得し改装する動

言葉「そろり」。するがとんでもないことだと気付く。最初のうちは少なくとも、21目目は100万粒を突破。28日目には1億粒を超えてしまうと。現状の地価高騰による地域の変貌が、継続し続けるならば住民にとって生

倍々経済を放置してはいけない

活しづらい地域社会になっ



生物季節観測植物の秋の訪れを観測するススキ。葉鞘(ようしょう)から抜きでた穂が約20%に達すると開花日だ。

活しづらい地域社会になっ

の大切な視点なのだろう。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)